

伊勢堂岱遺跡のジュニアガイドの取り組みを学ぶ

2/24
松の館



講演する伊勢堂岱縄文館の中嶋俊彦館長

NPO法人つがる縄文の会(川嶋大史理事長)は「JOMON亀ヶ岡文化フォーラム2024」を開催。伊勢堂岱縄文館(北秋田市)の中嶋俊彦館長を講師に迎え、伊勢堂岱遺跡の特徴やジュニアボランティアガイドの取り組みについて講演しました。

北秋田市教育委員会では、自発的に応募した小学4年生から高校3年生までの児童生徒36人をガイドに委嘱。ゴールデンウィークと夏休み中に遺跡現地と縄文館内を案内しているほか、まつりやシンポジウムの開催にも携わっています。中嶋氏は「ガイドの事前研修会を実施し、他の遺跡を見に行き、自分たちの遺跡の魅力や価値を再認識する機会にしている。ガイドに対する来訪者の評価は非常に高い」などと話しました。

このほか、フォーラムでは、木造高校情報システム系列の松山未優さんが、AR(拡張現実)を活用して縄文遺跡の魅力や情報発信する取り組みを紹介したほか、市教育委員会の学芸員は史跡整備の計画などを解説しました。

本市の魅力伝えるユニークな動画が完成



市では、本市の魅力ユニークに体験してもらう7本の動画「スマホで、つがる。」を公開しました。動画は、地元の人にとって当たり前でも、そうではない人には癖になるシュールな日常を映像化したもので、難解な津軽弁や田園風景の中で人目を気にせず没頭する吹奏楽部などが登場し、本市の魅力疑似的に楽しむことができます。

この動画は首都圏の女子大生プロジェクトチーム「キャンパスラボ」と木造高校の生徒が、本市の魅力県内外の人に伝える「新解釈つがる。辞典」プロジェクトの一環で制作。この日、木造高校の生徒たちは完成した動画を披露するため、倉光市長を表敬訪問しました。

動画を視聴した倉光市長は「非常に趣向を凝らした動画だと思いました。今後も木造高校と一緒に課題に取り組み、このつがる市を盛り上げていきたい」と話しました。

木造高校の工藤颯太さんは「この動画を県内の方にはもちろん県外の方にも見てもらって、より多くの人につがる市を知ってもらって、多くの方が訪れる場所になってほしい」と話しました。



2/28
市役所

倉光市長に完成した動画を紹介する木造高校の生徒たち

青森銀行とトーオ開発が柏小に寄贈

2/29
柏小学校



(左から) 青森銀行工藤太朗つがる支店長、柏小学校三上高弘校長、トーオ開発佐藤眞治代表取締役

株式会社青森銀行(石川啓太郎取締役頭取)は、株式会社トーオ開発(佐藤眞治代表取締役)の私募債発行を記念し、柏小学校にポータブルサウンドシステムとインクジェット複合機を寄贈しました。

同行では、あおぎんSDGs私募債「未来の創造」を発行する際に受け取る手数料の一部(私募債発行額の0.2%相当分)を拠出し、地域の学校や児童福祉施設、自治体等へ金品を寄贈しています。

私募債を発行した同社の佐藤代表取締役は「当社は柏地区から多くの従業員を雇用しているので、従業員のお子さまが多く通う柏小学校にこの度寄贈させていただいた。未来のつがる市を担う子どもたちのために使ってほしい」と話しました。

柏小学校三上高弘校長は「さまざまな教育活動に便利で役立つ。子どもたちのために使わせていただきます」と感謝しました。

伊藤鋳業が小学新1年生に防犯ブザーを寄贈

株式会社伊藤鋳業（佐々木互代表取締役社長）が新入学児童の登下校時の安全に役立ててほしいと、市に防犯ブザー180個を寄贈しました。同社は、地域貢献活動の一環として平成28年から市にブザーを寄贈しており、今年で9回目。ブザーは市内全小学校の新1年生全員に贈られます。

この日、佐々木社長と神栄取締役営業部長が市役所を訪れ、倉光市長に目録を手渡しました。

佐々木社長は「私どもは『地域とともに、地域のために』を社是としています。今後も企業の社会的責任を意識した地域貢献を目指していきたい」と話しました。

倉光市長は「市総合体育館のネーミングライツに加え、教育行政にご支援いただき心から感謝申し上げます」と述べました。



3/1
市役所

倉光市長に目録を手渡す佐々木互社長（右）と神栄取締役営業部長

米陸軍車力通信所の所長にエッチバーガー大尉が着任

Xバンドレーダーが配備されている米陸軍車力通信所の所長に、デレク・サンチェス少佐に代わり、ヘンリー・エッチバーガー大尉が着任しました。



3/4
市役所

倉光市長に交代を報告するヘンリー・エッチバーガー大尉（左）とデレク・サンチェス少佐

この日、新旧2人の所長は倉光市長を訪ね、交代を報告。エッチバーガー大尉は「これまで車力通信所が地域の方々と築き上げてきた関係を引き継ぎ、チーム一丸となって地域のために努めてまいります」と抱負を語りました。

倉光市長は「米軍・自衛隊・警察・行政が連携し、より良い関係を築いていけるよう協力をお願いします」と歓迎しました。

エッチバーガー大尉は、米国フロリダ州パナマシティの出身。「来日してまだ2週間ですが、地域のすばらしさ、人々の親切さに感銘を受けました。これから地域の方々と交流を深めていきたい」とも話しました。

離任するサンチェス少佐は「アメリカに帰ってもつがる市のすばらしさを向こうの皆さんに伝えていきたい」と感謝しました。

技術を競い大空に舞う凧

第27回つがる市稲垣凧揚げ大会がコロナ禍を経て4年ぶりに開催されました。

県内をはじめ、秋田県や東京都などから約250人が参加。力強く色鮮やかな武者絵など、大小の凧が音をとどろかせながら大空に舞っていました。競技は、凧の大きさごとにクラスに分けて行われたほか、子どもの部・創作凧の部も設けられ、「凧揚げマナー・安定度・鳴り」の項目を審査員が採点。クラスごとに最優秀賞・優秀賞・優良賞・努力賞を決定し表彰しました。

主催するつがる市稲垣凧の会の横山勇一会長は「4年ぶりの開催なので大いに楽しんでもらいたい。これからも凧揚げの伝統を守り続けていきたい」と話しました。

子どもの部で最優秀賞に輝いた向陽小学校4年生の安田惺花さんは「凧揚げはとても難しいけど、慣れてくると楽しい。今日は絶好の風だった」と感想を話しました。



3/10
岩木川
河川公園

風をとらえて大凧を揚げる参加者